



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 伊達 忠應

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,651	1.4	593	△18.7	614	△18.3	368	△15.8
26年3月期第3四半期	12,472	6.4	730	55.0	751	52.8	437	60.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 377百万円 (△15.6%) 26年3月期第3四半期 447百万円 (65.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	94.27	—
26年3月期第3四半期	109.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	9,154	5,752	62.8	1,653.39
26年3月期	9,189	5,824	63.4	1,463.75

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,752百万円 26年3月期 5,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,083	3.2	639	△29.4	647	△30.6	394	△20.2	99.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	4,216,000 株	26年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	736,509 株	26年3月期	236,509 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,904,945 株	26年3月期3Q	3,979,512 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策の効果から企業の収益性、雇用情勢においては改善傾向を持続しております。しかしながら、円安による物価上昇や消費税増税に伴う実質的所得の減少によって、更なる消費税率の引き上げは先延ばしとなったものの、消費マインドは引き続き減退しております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、個人消費の低迷が見られるものの、観光は順調に推移し、雇用情勢も緩やかに改善しております。

医療業界におきましては、同業他社との価格競争による利益率の低下や、平成26年4月に診療報酬改定が実施されたことにより、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き原価コストの圧縮に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,651百万円（前年同期比1.4%増）と増収になりましたが、診療報酬改定、薬価のマイナス改定及び消費税率引き上げ等により経費が増加したため、営業利益593百万円（同18.7%減）、経常利益614百万円（同18.3%減）、四半期純利益368百万円（同15.8%減）と減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬改定の影響がありましたが、新規顧客の獲得に重点をおいた営業活動により売上高4,030百万円（同1.9%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、検査機器及び基幹システムサーバの更新等により、経費が増加したことから、セグメント利益139百万円（同25.2%減）と前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、新規出店と既存店舗の業績が順調に推移したことから売上高7,913百万円（同4.3%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、新規出店における初期導入費用及び消費税率引き上げに伴い控除対象外となる消費税の経費負担が増加したことから、セグメント利益714百万円（同9.5%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売が前年同期を下回ったため、売上高657百万円（同21.5%減）、セグメント損失9百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）と売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高50百万円（前年同期比47.1%減）、セグメント利益26百万円（同62.4%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少（前連結会計年度末比3.0%減）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が173百万円、商品が265百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が671百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円増加（同5.9%増）いたしました。これは主に工具、器具及び備品が38百万円、土地が28百万円、無形固定資産が42百万円及び投資有価証券が15百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,154百万円となり、前連結年度末に比べ34百万円の減少（同0.4%減）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加（同1.8%増）いたしました。これは主に短期借入金が252百万円、未払法人税等が165百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が445百万円増加したことによるものです。固定負債は301百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少（同5.3%減）いたしました。これは主に長期借入金が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,401百万円となり、前連結年度末に比べ37百万円の増加（同1.1%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少(同1.2%減)いたしました。これは主に四半期純利益368百万円ありましたが、剰余金の配当43百万円及び自己株式の取得406百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8%となり、前連結年度末に比べ0.6ポイント減少いたしました。

また、1株当たり純資産は1,653円39銭となり、前連結会計年度末比189円64銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,688	2,578,752
受取手形及び売掛金	2,544,715	2,717,872
商品及び製品	481,071	746,629
仕掛品	13,854	6,823
原材料及び貯蔵品	38,966	49,240
繰延税金資産	74,577	74,208
その他	71,668	111,696
貸倒引当金	△28,558	△33,943
流動資産合計	6,446,984	6,251,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,850,967	1,871,248
減価償却累計額	△1,170,356	△1,210,403
建物及び構築物(純額)	680,610	660,845
機械装置及び運搬具	32,221	41,791
減価償却累計額	△28,799	△28,457
機械装置及び運搬具(純額)	3,421	13,333
工具、器具及び備品	2,343,061	2,430,221
減価償却累計額	△1,944,370	△1,992,944
工具、器具及び備品(純額)	398,690	437,276
土地	903,818	932,817
リース資産	79,122	68,063
減価償却累計額	△48,277	△31,276
リース資産(純額)	30,845	36,787
建設仮勘定	2,569	—
有形固定資産合計	2,019,955	2,081,060
無形固定資産		
その他	57,879	100,777
無形固定資産合計	57,879	100,777
投資その他の資産		
投資有価証券	134,903	150,215
長期貸付金	18,114	14,400
長期前払費用	22,525	35,157
差入保証金	309,415	320,387
繰延税金資産	129,434	124,507
その他	166,076	191,596
貸倒引当金	△116,241	△114,576
投資その他の資産合計	664,228	721,688
固定資産合計	2,742,063	2,903,526
資産合計	9,189,047	9,154,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,150,111	2,596,018
短期借入金	281,489	28,684
リース債務	13,894	14,177
未払法人税等	245,373	79,458
賞与引当金	111,390	31,333
未払金	103,134	82,362
その他	140,227	268,159
流動負債合計	3,045,620	3,100,192
固定負債		
長期借入金	60,690	41,338
リース債務	19,437	25,690
役員退職慰労引当金	49,512	53,192
退職給付に係る負債	12,790	13,388
長期未払金	169,882	162,085
その他	6,124	5,974
固定負債合計	318,437	301,669
負債合計	3,364,057	3,401,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	3,905,210	4,229,551
自己株式	△98,568	△504,568
株主資本合計	5,805,262	5,723,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,727	29,341
その他の包括利益累計額合計	19,727	29,341
純資産合計	5,824,989	5,752,944
負債純資産合計	9,189,047	9,154,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,472,978	12,651,982
売上原価	8,798,187	8,805,987
売上総利益	3,674,790	3,845,994
販売費及び一般管理費	2,944,472	3,252,454
営業利益	730,317	593,540
営業外収益		
受取利息	1,161	1,165
受取配当金	3,417	5,291
受取賃貸料	28,988	25,846
その他	21,382	24,754
営業外収益合計	54,950	57,057
営業外費用		
支払利息	2,599	1,674
賃貸収入原価	30,121	30,329
その他	801	4,149
営業外費用合計	33,521	36,154
経常利益	751,746	614,444
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	1,035	489
特別損失合計	1,046	489
税金等調整前四半期純利益	750,700	613,955
法人税等	313,585	245,839
少数株主損益調整前四半期純利益	437,114	368,115
四半期純利益	437,114	368,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	437,114	368,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,669	9,613
その他の包括利益合計	10,669	9,613
四半期包括利益	447,784	377,729
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	447,784	377,729

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年11月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が406,000千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が504,568千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,954,430	7,586,832	837,037	12,378,300	94,678	12,472,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	425,012	425,012	1,059	426,072
計	3,954,430	7,586,832	1,262,050	12,803,313	95,738	12,899,051
セグメント利益又は損失 (△)	186,614	789,963	△3,949	972,628	69,582	1,042,210

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	972,628
「その他」の区分の利益	69,582
セグメント間取引消去	7,142
全社費用(注)	△319,034
四半期連結損益計算書の営業利益	730,317

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,030,837	7,913,938	657,128	12,601,905	50,077	12,651,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	512,960	512,960	1,286	514,246
計	4,030,837	7,913,938	1,170,089	13,114,865	51,363	13,166,229
セグメント利益又は損失 (△)	139,674	714,897	△9,543	845,028	26,139	871,167

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	845,028
「その他」の区分の利益	26,139
セグメント間取引消去	8,348
全社費用(注)	△285,975
四半期連結損益計算書の営業利益	593,540

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。